

# 北海道演習林自動撮影カメラ調査成果報告

## (2016年4月～2021年3月)

及川 希・小林徹行・片平可奈

Monitoring report of the vertebrates using camera traps in the University of  
Tokyo Hokkaido Forest (April, 2016–March, 2021)

Nozomi OIKAWA, Tetsuyuki KOBAYASHI, Kana KATAHIRA

### I. 調査地

調査は北海道中央部に位置する北海道演習林 (面積 22,714.86ha)<sup>1)</sup> (以下, 北演) で行った。樹木園, 奥の沢, 本沢の3地点に固定の観測点を設定した。北演の位置や地況, 植生などの詳細については, ウェブサイト (<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/hokuen/>) を参照されたい。

### II. 調査概要と使用機器

調査は2016年4月から2021年3月までの5年間行った。調査地ごとの稼働期間, 撮影数内訳, 使用した機器および設定条件, 位置情報を附表-1に示す。なお, 鳥類も可能な限り同定を行った。

### III. 結果

#### (1) 撮影数と確認種

撮影された総数は28,016枚で, そのうち有効撮影は9,342枚であった。鳥類を含む脊椎動物が確認できたものは7,994枚であった。その内訳は, ネズミ類を除く哺乳類4目8科12属12種7,386枚, ネズミ類72枚, 判別不能哺乳類85枚, カラス類を除く鳥類6目13科17属23種225枚, カラス類113枚, 判別不能鳥類21枚, 爬虫類1目1科1属1種2枚であった。両生類は撮影されなかった。哺乳類の内訳はキツネ1,984枚, タヌキ688枚, イヌ6枚, ヒグマ93枚, アライグマ56枚, クロテン29枚, ミンク2枚, イエネコ141枚, エゾシカ (ニホンジカの北海道亜種) 4,258枚, エゾリス (キタリスの北海道亜種) 92枚, シマリス1枚, エゾユキウサギ (ユキウサギの北海道亜種) 36枚であった。このうち, アライグマとミンクは環境省外来生物法の特定外来生物に指定されている。また, ミンクは本調査が初記録である。鳥類の内訳はキジバト

77 枚, キセキレイ 29 枚, クロツグミ 29 枚, アオサギ 13 枚, カワガラス 12 枚, オジロワシ 10 枚, オオワシ 8 枚, アオジ 7 枚, トラツグミ 7 枚, ヤマシギ 7 枚, アカゲラ 6 枚, ミヤマカケス 5 枚, アカハラ 3 枚, エゾライチョウ 3 枚, オオルリ, カワラヒワ, クロジ, コマドリ, シジュウカラ, ツグミ, ビンズイ, マミチャジナイ, ヤマゲラが各 1 枚であった。

#### (2) 鳥獣撮影リスト一覧

北演で 2016 年 4 月から 2021 年 3 月までに撮影された鳥獣撮影のリストを附表-2 に示す。なお、一枚の画像に複数の種が写っている場合もあるため、附表-1 の鳥獣撮影数と附表-2 の延べ鳥獣撮影数の合計値は一致しない。

### IV. 謝辞

本調査を進めるにあたり、多数の教職員のご理解とご協力をいただいた。ここに厚く御礼申し上げます。

### 引用文献

- 1) 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 (2012) 北海道演習林第 13 期教育研究計画 (2011 (平成 23) 年度~2020 (平成 32) 年度). 演習林 51 : 67-176.

「附表－1」および「附表－2」については、東京大学学術機関リポジトリ（UTokyo Repository）に掲載しています。

URI: <https://doi.org/10.15083/0002002917>